

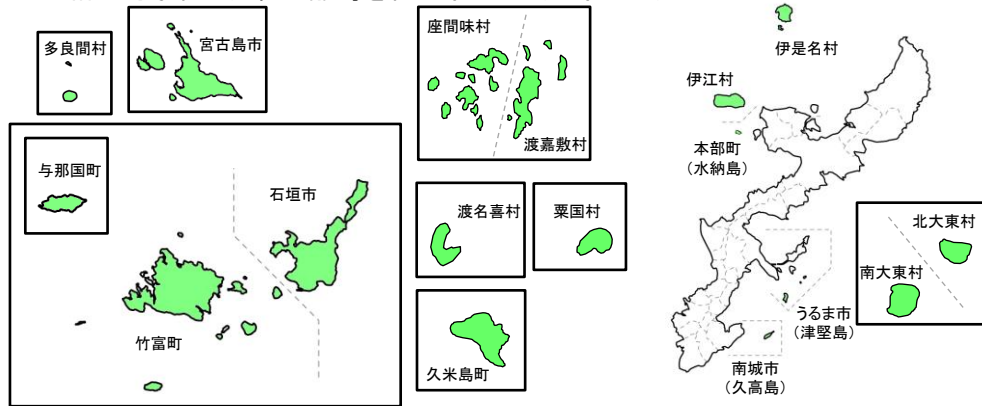
沖縄離島活性化推進事業費（内閣府政策統括官（沖縄政策担当））

令和6年度予算額 **25.8億円**
（令和5年度予算額 24.8億円）

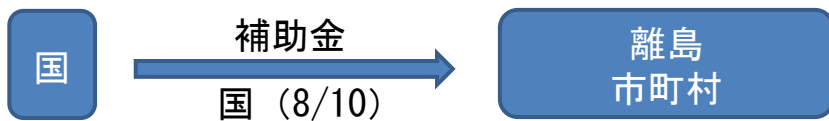
事業概要・目的

- 沖縄の離島地域は、本島から遠隔に位置し、広大な海域に散在し、市場規模等が狭小であるといった特有の条件不利性を有しており、人口減少・高齢化、割高な生活コストなど、県内の他の地域に比べ、なお厳しい自然的・社会的状況が存在。
- 離島地域の条件不利性に起因する地域課題の解決に向け、離島市町村がそれぞれの地域の実情に応じ実施する産業振興・定住条件の整備などの取組等を支援し、条件不利性の緩和・解消と地域社会の持続可能性の維持向上を図る。

◆補助対象者：沖縄の離島を含む市町村（18市町村）



資金の流れ



事業イメージ・具体例

沖縄県内の他地域とは異なる離島地域特有の条件不利性に起因する課題解決に向け、地域の実情に応じ実施する事業

- 地域資源を生かした産業振興に資する事業
- 移住・定住環境の維持向上に資する事業
- 地域と多様に関わる人々（関係人口）の創出や地域間交流等を通じた地域活性化に資する事業
- 地域で活躍する人材の育成・確保に資する事業 等

そのほか、離島の地域課題の解決や振興に資するものであって、官民連携・政策間連携等の先導性を有するモデル的な事業

<事業例>

定住促進住宅の整備



農業等に従事する移住者が入居するための住宅を整備

植物コンテナ、野菜工場の整備



島民へ新鮮な葉野菜の安定供給を図るための施設を整備

期待される効果

- 離島地域特有の条件不利性の緩和・解消
- 離島地域それぞれの特色を生かした産業振興・定住環境の整備等による離島の振興

沖縄離島活性化推進事業

○ 厳しい自然的・社会的条件に置かれている沖縄の離島市町村が、県内の他地域とは異なる離島地域特有の条件不利性に起因する課題解決のため、地域の実情に応じて実施する条件不利性の克服・地域の持続可能性の維持向上に向けた事業等を支援する。

(事業イメージ)

- 地域資源を生かした産業振興に資する事業
- 移住・定住環境の維持向上に資する事業
- 地域と多様に関わる人々(関係人口)の創出や地域間交流等を通じた地域活性化に資する事業
- 地域で活躍する人材の育成・確保に資する事業 等

令和6年度予算額: 25.8億円(令和5年度予算額: 24.8億円)

対象市町村: 沖縄の離島を含む市町村(18市町村) 補助率: 8/10



<事業実施例>

定住促進住宅の整備

農業等に従事する移住者が入居するための住宅を整備



与那国町ほか10市町村

植物コンテナ、野菜工場の整備

島民へ新鮮な葉野菜の安定供給を図るための施設を整備



南城市ほか4市町村

新たな特産品の新規開発等に向けた支援

新たな特産品の開発や販路開拓を通じて、新規産業の構築、産業の振興を実現する



伊平屋村ほか6市町村

安心・安全な生活環境の構築に向けた支援

唯一のアクセス路であるフェリーターミナルの機能強化や航路の安定化を実現する



伊平屋村ほか6町村